

# ひろしまけん 交通指導員だより

2010.8  
第7号

発行：広島県環境県民局  
県民活動課  
(交通安全対策室)

お知らせ  
10月5日県庁にて、交通指  
導員研修会を開催します。  
詳細は、市町担当部署を通  
してご連絡しますので、奮っ  
てご参加ください。

## ☆交通指導員活動状況☆

～東広島市交通指導員～



今回は、東広島交通安全協会と東広島警察署主催の「高齢者自転車の安全な乗り方教室」を訪問しました。東広島市の約30名の高齢者の方が参加され、東広島市のベテラン交通指導員さんが講師をされていました。

高齢者の場合、自分自身の身体機能の正しい認識とそれを踏まえた上での安全運転技能の習得が必要であるということを経験して訴えておられました。

まず自転車に乗る前に、準備運動を兼ねて参加者全員に足踏み等軽く体を動かしてもらい、通常の歩行時に足が上がっているか、片足立ちでどのくらい立ってられるか等、参加者自身で自分の身体機能を確認してもらっていました。

また、自転車乗車時の安全確認の際、動きながらでは後方確認が難しいと感じられる場合は、無理をせず止まって確認するようにとアドバイスをする等、身体機能に応じた乗り方を指導されていました。

今回ご指導の指導員さんは、指導歴38年の大ベテラン。歌あり、実践ありと、とても楽しい講習で、教室の運営も、他の交通指導員の方々を統率されて非常にスムーズに行われていました。



自転車の安全な  
乗り方のポイント

# 交通安全教材

(第1回)

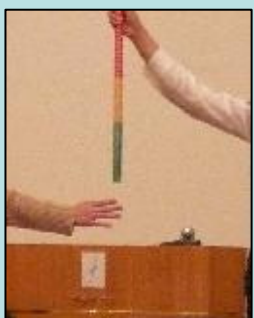
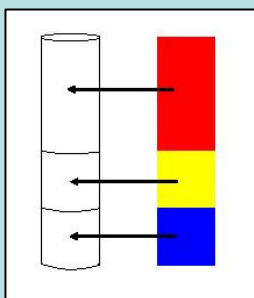
今回からは、交通安全教室等で使用する簡単な教材の作成方法と活用方法を紹介します。

## ○反射機能測定棒

- ① 準備するもの
  - ・ラップ又はアルミホイルの芯棒
  - ・折り紙(カラーシート)赤・黄・青の三色
  - ・セロファンテープ又は両面テープ
- ② 作成要領
  - ・芯棒に三色の紙を貼る。
  - ・紙の比率は、赤2、黄1、青1の割合
  - ・補強のため、透明ビニールテープなどを貼る(ラップを巻き付けてもよい。)
- ③ 活用要領
  - 棒の青の部分を下にして、棒の下で相手に掴かむ準備をさせてから棒を離すタイミングを予告することなく落とす、どの部分で掴めるかを検証し、自分の反射神経がどの程度か認識させます。

青、黄部分で掴むことができた者はまずまずの反射神経、赤の者には若干反射神経が鈍いことを説明します。  
青部分で掴むことができた者には、もう一度挑戦させます。  
その際、相手に対し、話しかけ注意をそらせた時に棒を落とします。  
結果が前回より悪くなる場合が多いので、意識が他に向くと行動が遅れることを説明します。

※ 簡単に作成できますので、是非作って活用してください



# 秋の全国交通安全運動

平成22年9月21日(火)～9月30日(木)

## ★運動の基本

### 「高齢者の交通事故防止」

- 道路を渡る前には必ず周囲を確認しましょう。
- 高齢ドライバーに対しては、思いやりのある運転をしましょう。

## ★運動の重点

### 「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」

- 車に乗ったらシートベルトを着用しましょう。
- チャイルドシートは体格に合ったものを使用し、正しく着用しましょう。

### 「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」

- 夕暮れ、夜間に出かけるときは反射材を着用しましょう。
- 自転車に乗る時はライトを点灯しましょう。

### 「飲酒運転の根絶」

- 酒を飲んだら絶対車を運転しない。
- 車を運転する人にはお酒を勧めない。



9月30日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」です!

夜のお出かけは**反射材**をつけて  
いつもより目立ちましょう!

**高齢者の交通事故防止**

- ◆夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用の徹底)
- ◆全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◆飲酒運転の根絶

「手を上げる 可愛い笑顔に 待つ笑顔」

### 秋の全国交通安全運動開始式

9月21日(火) 午前9時00分から  
 広島県庁正面広場(雨天時は1階ロビー)  
 ハンドボールチーム「メイプルレッズ」の  
 選手のみなさんと街頭キャンペーンを実施

夕方や夜間に歩くときは

反射材用品等を活用しましょう!



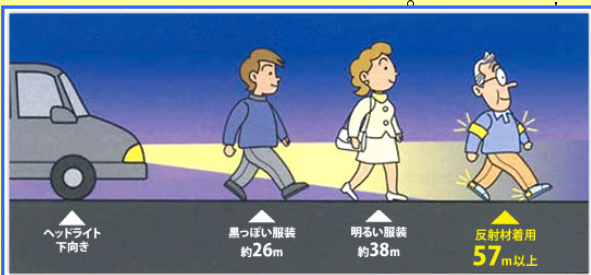
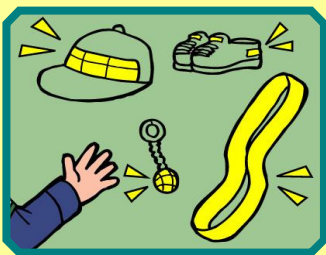
夕方や夜間になると、車の運転者から歩行者が見えにくくなり、重大事故が発生しやすくなります。



自動車運転者から見ると、「反射材を着用している歩行者」は「着用していない歩行者」よりも2倍以上手前で発見できます。



反射材用品等を活用し、自動車などに早めに自分が道路上にいることを知らせましょう。



※反射材の種類・大きさ・取り付け位置などによって異なるもの、約57m以上の視認性が確保されています。

◎H21年中の交通事故死者数142人のうち、歩行中は51人(35.9%)

◆51人のうち

●夜間	34人 (66.6%)
●早朝・薄暮	15人 (29.4%)
●反射材等使用なし	50人 (98.0%)